

03 大学等内での就職支援

■キャリア支援室（就職相談室）

※名称は各学校によって異なります。

障害の有無にかかわらず、就職活動の悩みや不安などについて相談を受け付けます。発達障害の方は「どんな職業が向いているか分からない」「単位が取れなくて、卒業と同時に就職は難しい」などの困りごとが出てくることが多いです。

一般的にキャリア支援室では

- ・ 職業適性診断やキャリアカウンセラーなどによる相談
- ・ ハローワークへの相談の仕方

などを行っていますが、障害のある学生については「障害者雇用を行っている会社の紹介」や「ハローワークの障害専門窓口への相談の仕方」などを行う場合もあります。学校によって支援体制はさまざまです。

基本的には本人からの相談を受け付けていますが、中には家族からの相談を受け、話を聞きながら連携を取って支援を行っている学校もあります。

学校外での就労支援機関については第2章（P.21）「03 就労支援機関の利用」をご覧ください。

体験談



就職活動では会社ごとエントリーの仕方が違ったり、進み方も違うし、それらを同時に行うこと、しかも行ったことのない会社に訪問したりするので、どれほどストレスがあったかと想像するにあまりあることでした。就職活動中もキャリア支援課で担当をつけてくださってその方がエントリーシートの書き方や困りごとの相談にのってくれました。エントリーシートには「自分のこと」を記入していきますが、自己理解にはとてもつながったと思います。そこは私も協力したかな～。そのあたりを乗り越えてこられたのは、大学1,2年の苦労があったからだと思います。相手の反応がわからなくて、どうしたらよいかわからないから、タイミングよくちょっと困ったことを聞けないということが大きな課題でしたが、そこが自分でできるかどうかは別として少しでもやっていかないと先に進めないということがわかったようでした。（家族）

（P.62）「マイストーリー1 大学生在学中 20代男性 家族からの話」もご覧ください。